第1日 3月24日 (土) 9:00 \sim 11:00

		第 1 日	3月24日(土)	$9:00 \sim 11:00$		
時間	A 会場 2-C 第 3 セミナー室 果樹 I	B 会場 2–D 中会議室 果樹 II	C 会場 2-E 視聴覚研修室 果樹 III	D 会場 3-A 第 1 会議室 野菜 I	E 会場 2–A 第 1 セミナー室 野菜 II	F 会場 2-B 第 2 セミナー室 野菜 III
9:00	カンキツ 座長 西谷千佳子 TaA 果 01 カンキツ属近縁の Clymenia, Eremocitrus, Microcitrus における染色体の CMA 染色 ○山本雅史 1・Asad Asadi Abkenar・松本売司 2・久保達也 1・冨永茂人 1 (1 鹿児島大農学部, 2佐賀大農学部)	ウトウの S 遺伝子型判別 ○北柴大泰 ¹ • Zhang, S.L. ^{1,2} • 西尾 剛 ¹ (¹ 東北大院農	酸(GABA)高蓄積機構の 分子生物学的解析 ○高瀬秀樹・田村隆幸・鈴 木由美子・小谷恭弘・金野	遺伝資源 座長 一色 司郎 1aD 野 01	病害虫 座長 福元 康文 1aE 野 01 ハウスの立地方位が実えん どう・きしゅううすい、の 子実肥大に及ぼす影響 〇平 貴志・東 裕嗣・堀 泰明・・冨田栄一 ² (JA みな べいなみ、JA 和歌山県農)	栽培・作型 座長 松添 直隆 laF 野 01 夏期ハウス内のミニトマトの着果、花粉稔性とマルハナバチの活動、大森弘美・黒崎秀仁・坂上、修・高市益行・中野明正・安場健一郎・佐々木英和・川嶋浩樹・中野有加・河崎 靖 (農研機構野菜茶研)
9:15	1aA 果 02 カンキッ多胚性遺伝子座のファインマッピングと物理 地図構築 ○中野道治 ^{1,2} ・清水徳朗 ³ ・根角博久 ³ ・國質 武 ³ ・十三男 ² (¹ 岐阜大院連合人 学研究科 ² 静岡大農学部, ³ 農研機構果樹研)	1aB 果 02 ウメにおける新規自家和合 性 S³・ハブロタイプの解析 ○福田恭子 1・山根久代 1・ 羽生 剛 1・大野貴美子 2・ 冬廣吉朗 2・田尾龍太郎 1 (1京都太院農学研究科 2・福 井國試)	種における自動的並びに刺激的単為結果性 ○ハッサンサリカニ ¹ ・若菜章 ² ・酒井かおり ² ・福留 功 ³	○齊藤猛雄 ¹ ・山田朋宏 ¹ ・	1aE 野 02 病害抵抗性誘導に及ぼす緑 色光照射の影響 ○工藤りか・末包亜矢子・ 山本敬司・垣渕和正・石田 豊(㈱四国総合研究所)	laF 野 02 ハイワイヤー誘引栽培したトマト品種の高温期における初期収量 ○佐々木英和・河崎 靖・黒崎秀仁・中野有加・大森弘美・安場健一郎・川嶋浩樹・中野明正・鈴木克己・坂上 修・高市益行 (農研機構野菜茶研)
9:30	laA 果 03 シロイヌナズナのゲノム情報を利用したESTの構造及 機能アノテーションを自動 的に行うプログラムの開発 ○藤井浩¹・緒方達志²・園 西恵吾³・杉山愛子³・島田氏 彦¹・遠藤肘子¹・清木徳朗¹・ 大村三男³(「農研機構果樹研、 ²国際農研,3 静岡大農学部)	耕基・金山喜則(東北大院	発達 ハッサンサリカニ ¹ ・○若 菜 章 ² ・酒井かおり ² ・福	laD 野 03 トマトのマッピング集団の 育成と開花時期に関連した QTL の同定 ○ Cagas Cyd Celeste・李 裕・根本主介・杉山信男(東 京大院農学生命科学研究科)	1aE 野 03 メロンにおける黄化症状の発生と果実被害 ○林田慎一・行徳 裕・森 田敏雅(熊本農研セ)	laF 野 03 トマトの夏期高温障害を回 避するための栽培システム 開発 ○田上友喜・佐藤 卓・丸 尾達・篠原 温 (千葉大園 芸学部)
9:45	laA 果 04 マイクロアレイを利用した カンキッ受精胚の遺伝子発 現解析 ○清水徳朗・島田武彦・藤 井 浩・遠藤朋子(農研機 構果樹研)	座長 森田 泉 laB 果 04 オウトウ新品種 紅きらり' 〇石黒 亮・西村幸一・阿部 和幸"・山口正己"・本間禎 明*"安孫子裕樹 工藤 信・ 丸川 崇 (山形農総研七農 生技試、漫の機構果樹研, *** 山形県庄内産地研)	座長 山下 裕之 IaC 果 04 ブドウ結果校における環状 はく皮処理の時期、幅およ び果粒数が果皮の着色に及 ぼす影響 ○山根崇嘉・柴山勝利*(広 島農技セ果研,*広島農林水 産部)	食用ホオズキの収集系統の 同定と生産力比較 ○田口多喜子(秋田農技セ	発芽・育苗 座長 佐々木英和 laE 野 04 の生育。収量に及ぼす育苗 時の温度。日長条件の影響 ○竹川昌宏 1・兵・時枚茂行・土屋 和 2(1・兵庫農林水総七農技セ・2太洋興業(株))	ムの開発 ○木下義明・山口秀和・塩
10:00	座長 山本 雅史 laA 果 05 低温によるカンキッの花成 誘導と花成関連遺伝子の発 現変動 〇西川美美恵 ¹ ・遠藤朋子 ¹ ・ 高田武彦・藤井 浩 ¹ ・清 水徳朗 ¹ ・大村三男 ² ・生駒 吉識 ¹ (¹ 農研機構果樹研, ² 静岡大農学部)	1aB 果 05 貯蔵条件がハナモモ種子の 発芽率に及ぼす影響 ○神尾真司・宮本善秋(岐 阜中山間農研)	1aC 果 05 根域制限栽培 '安芸クイー ン'における施肥量および土 壌水分が着色に及ぼす影響 ○安川博之 (京都丹後農研)	1aD 野 05 ギョウジャニンニクの萌芽 期、採種量および種子発芽 率の系統間差 ○音喜多啓秀・木戸重範・ 前田智雄・鈴木 卓・大澤 勝次(北大院農学研究院)	1aE 野 05 園芸用育苗培養土への高吸 水性ポリマー混和がトマト 苗の生育に及ぼす影響 ○龍 勝利・井手 治・ 奥幸一郎・田口明裕 (1福岡農総試、2 (株) 清新 産業)	laF 野 05 平坦地におけるイチゴ周年収穫技術の開発(第 1 報) 挿 し苗時期と短日夜冷処理日 数が「とちおとめ」頂花房 の開花期に及ぼす影響 ○斎藤弥生子・山下文秋・ 矢部和則(愛知農総試)
10:15	1aA 果 06 少核果ヒュウガナツ生産のための受粉樹 カンキツ口之津 41 号。○今井 篤・高原利雄・稗間直史・『篠町 浩・経町 一・監督(展研機構果樹研・『長崎果樹試・**佐賀大農学部、養研放射線育種場)	1aB 果 06 土壌への雨水遮断がオウト ウの裂果発生、果実肥大お よび樹体水分関係に及ぼす 影響 〇山本隆儀・奥谷紘平・川 上 洗・金本明洋(山形大 農学部)	おける CPPU の後期処理時期が果房特性に及ぼす影響 ○関 達哉 ¹ ・北尾一郎 ¹ ・小泉和明 ¹ ・柴田健一郎 ¹ ・	○柳 智博 ¹ ・曽根一純 ² ・ ナスウェット プリーダ ¹ ・	1aE 野 06 貯蔵初期における接合部への加温処理によるトマトおよびナス接ぎ木挿し穂の貯 ○跌合俊夫 ・ 中島はるか ・ 2 清水(丸雄)かほり 3・ 瓦 朋子 ・ 土屋和 4 (「大阪府 大院生命環境科学研究外・ 2 大阪府大學部・3 ベルク アース(株)・4太洋興業(株))	1aF 野 06 スイカにおける軟 X 線照射 花粉の保存方法の検討 ○阿久津雅子・杉山慶太 (農 研機構北海道農研)
10:30	IaA 果 07 重イオンビーム照射による ユズのトゲ消失変異個体の 誘発 ○松尾洋一 ¹ ・長谷純宏 ² ・ 横田裕一郎 ² ・鳴海一成 ² ・ 大薮榮興 ¹ (1 佐賀農試セ、 ² 原子力機構)	ウメ白紋羽病に対するナギ ナタガヤの作付け効果及び	laC 果 07 ブドウ果肉の果粒軟化期に おける水ポテンシャルにつ いて の坂川和也 ¹ ・薬師寺 博 ² ・ 児下佳子 ² ・東 暁文 ² (「福井農試、 ² 農研機構果樹 研(安芸津))	育種・品種特性 座長 曽根 一純 laD 野 07 四季成 り性イチゴ新品種「宮崎 S1号」の育成 〇野崎克弘・深田直彦 ¹ ・杉下弘之 ² ・白木己歳 ³ ・黒木田也!(『宮崎総農試 ² 宮崎県西日杵支庁 ³ 宮崎県西日株	(1千葉大園芸学部,2千葉農	栽培・作型 III 座長 佐藤 達雄 laf 野 07 アスバラガスの半促成長期 どり栽培において地上茎の 誘引と 2 次分枝の除去期間 が階級別収量に及ぼす影響 〇井山勝広・重松 武・尾崎 行生³(『長崎総農林武・『長崎農 林部、3九州大売農学研究形)
10:45	laA 果 08 カンキツ果実に発現する区 分キメラを利用した効率適 な芽条変異の獲得 ○喜多景治(愛媛果樹試岩 城分場)	1aB 果 08 '南高' 梅干しのシコリ果の 成分同定および発生要因 ○城村徳明 ¹ ・櫻井直樹 ² ・ 土田靖久 ¹ ・三宅英伸 ¹ (¹ 和 歌山農総技セ果試うめ研, ² 広島大総合科学部)	カキ 座長 山田 昌彦 laC 果 08 分子マーカーと Real time PCR 法を用いたカキのゲノ ム構成の解析 ○赤木剛士・田尾龍太郎・米 森敬三(京都大院農学研究科)	莊司善守 ^{1**} (¹ 山形砂丘地 農試現庄内総支農技普課産	1aE 野 08 Brassica oleracea L. に属する野菜品目は肥料制限苗に適する ○米田祥二・西本登志・矢 奥泰章・前川寛之・後藤公 美(奈良農総セ)	1aF 野 08 伏せ込み促成アスパラガス 栽培における 1 年半株養成 法 ○小泉丈晴 ¹ ・中條博也 ² (¹ 群馬農技セ中山間地園研 セ、 ² 群馬県立農林大)

第1日 3月24日(土) 9:00~11:00

		第1日 3月24	日 (土) 9:00~	- 11:00	
G会場	H 会場	I会場	J会場	K 会場	
3-I A 会議室 花き I	3–J B 会議室 花き II	3–K C 会議室 花き III	3–B 第 2 会議室 利用 I	2–H リハーサル室 利用 II	時間
遺伝資源 座長 田淵 俊人 1aG 花 01 利尻島固有種であるリシリ ヒナゲシ(Papaver fauriei) における自生個体群と栽培 個体群の ITS 領域の解析 ○吉田恵理・近岸真澄 ² ・ 愛甲哲也 ² ・近藤哲也 (・北海道大農学部、 ² ・北海道 大院農学研究院)	開花調節 座長 宮本 賢二 1aH 花 01 トルコギキョウ八重品種に おける冬季発生型ブラスチング再現実験系の構築 ○福田直子・牛尾亜由子 (農研機構花き研)	病害 座長 福井 博一 lal 花 01 シクラメンの体内窒素栄養 とアザリウムを潤病の発症 一番原伸介 1-2・1世 元達・2 (計算) (計算) (計算) (計算) (計算) (計算) (計算) (計算)	園芸療法 座長 望月 寛子 laJ 利(0) 精神障害者に対する園芸療 法ブログラムの開発合子2・ 中川昌子1・池田正則1・小 松崎将四・・地田正則1・・・ 中川昌子2・佐々木俊子2・ 上栄一1(1 茨城大農学部、 ² 茨城医療大付属病院)	鮮度保持・貯蔵 座長 久保 康隆 lak 利の1 収穫後の貯蔵温度が異なる キュウリの糖関連酵素活性 と糖含量の変化 ○松井年行・小杉祐介(香 川大農学部)	9:00
1aG 花 02 我が国のツバキ属植物における ○章な信峰・・若槻あや ² ・ 尾崎行生 ³ ・宮島郁夫 ⁴ ・松 田鹿徳 ³ ・大久保 敬 ³ (¹) 州大院生物資源環境科学所 ² 九州大農学部、 ³ 九州大院農 学研究院、 ⁴ 九州大熱研セ)	1aH 花 02 高温・長日条件下での夜温 制御がトルコギキョウの全 育に及ぼす影響 ○工藤陽史¹・栗山孝浩²・佐 渡 旭¹・山口 茂¹(¹熊本 農研セ₂²(株)九州電力総研)	1a1 花 02 作期・品種・土壌消毒方法 がアスター萎凋病の発病抑 制に及ぼす影響 ○小野佳枝・由井秀紀・宮 本賢二・藤永真史・山本宗輝 (長野県野菜花き試)	1aJ 利 02 園芸活動が血圧、脈拍、満 足度、気分に及ぼす影響 ○土橋 豊(甲子園短大家 政学科)	1aK 利 02 長門コズキチ果実の長期貯蔵における貯蔵温度の検討 と出庫後の緑色保持 ○福田真理・品川吉延・・ 山内直樹²(川山下森村きつ 試?山口上幾学部、・山口美 袮農林事務所)	9:15
laG 花 03 カッラ葉緑体DNAハブロタ イブの日本における地理的 分布 ○小泉真佑子¹・國分 尚²・ 岸本明子¹・安藤敏夫¹(「千 葉大園芸学部、千葉大環境健 康フィールド科学セ)	1aH 花 03 花芽形成を抑制する光源を 用いたトルコギキョウの初 秋出し栽培における切り花 品質向上 ○山田明日香・谷川孝弘・ 巣山拓郎・松野孝敏・ 國武 利浩(福岡農総試)	1al 花 03 トルコギキョウのウイルス 病抵抗性育種に関する研究 (第 2 報) Cucumber mosaic virus 抵抗性品種の検索 ○島 嘉輝 ¹ ・宮坂昌実 ² ・伊山幸秀 ¹ ・守川俊幸 ¹ ・堀 東香 報 ¹ ・向井 環 ³ ・塩 永真史 ² ・宮本賢二 ² (* ¹ 富 山農技セ野菜花き試 ³ 、長野 野菜花き試 ³ 、砺波農普セ)	機能性成分 座長 板村 裕之 laJ 利 03 カンキッ果実の培養砂じょ う組織におけるカロテノイ ド含量の変動 ○加藤雅也 ¹ ・関戸勇樹 ¹ ・山 脉和樹 ¹ ・高木敏彦 ¹ ・松本 光 ² ・生駒吉識 ² (¹ 静岡大農 学部 ² 農研機構果樹研)	1aK 利 03 ウメ '南高' 果実の貯蔵温度 が果実品質に及ぼす影響 ○大江孝明・岡室美絵子・ 根来圭一・土田靖久(和歌 山農総技セ果試うめ研)	9:30
座長 半田 高 1aG 花 04 ペチュニアと近縁属の遺伝 で変源解析・cDNAマイクロア レイを用いた,fbp2 遺伝子変 具体の解析・ ○ 松原紀嘉・島村克好・ ・ 島村克好・ ・ 島村克好・ ・ 別名・安藤敏夫・ (1 千 美 大院自然 部 学 千 葉 大 関 芸 大 環境	座長 福田 直子 1aH 花 04 局所冷房によるコチョウランの花茎発生及び開花 ○小川理恵・加藤俊博・酒 井広蔵(愛知農総試)	生理障害 座長 山中 正仁 lal 花 04 カーネーション萎縮叢生症 の抑制に対する土壌物理性 改善の効果 ○大伏加恵 ¹ ・米倉 悟 ² ・加 藤俊博 ¹ (「愛知農総試・子愛知 知多農林水産事務所農改普 課)	laJ 利 04 ブドゥ果皮中に含まれる でおいまな情楽件との関係 ○西川 豊 ¹ ・富森聰子 ² ・ 輸田健二 ¹ ・近療法哉 ³ (「重	1aK 利 04 エタノール蒸気処理が収穫 後のブロッコリーの小花の 脂質過酸化に及ぼす影響 ○森 友彦¹・鈴木康生²・ 今堀義洋³・寺出立文² (1神戸大院自然科学研究科, ²神戸大農学部・3大阪府立大 院生命環境科学研究科)	9:45
laG 花 05 ペチュニアと近縁属の遺伝 資源解析 — Petunia exserta における花色遺伝様式— ○毛井智子¹・松原粘嘉²・陳 素梅²・渡辺 均³・國分 尚³・ Goro Hashimtot⁴・交藤喩大『 (1 千葉大園去学部、3 千葉大 環境健康フィールド科学セ、 4 Centro Pesq.Hist.Nat.Brazil)	○國武利浩・松野孝敏・谷川孝弘・巣山拓郎・山田明	○沖 章紀・間野耕輔・内 田みどり・後藤丹十郎(岡	1aJ 利 05 トマト果実の抗酸化活性にお よぼす培養液管理条件の影響 一吉田千惠 ^{1・} 岩崎泰永 ^{1・} 東 敬子 ² (1宮城農園研, ² 農研機構野菜茶研)	座長 山内 直樹 laK 利 05 パッケージドサラダに用いるラディッシュの菌叢 (予藤村亮太郎・指原信廣(キュービー(株))	10:00
1aG 花 06 ベチュニアと近縁属の遺伝 ダ源解析―Petunia reitzii の 花色遺伝― ○佐々木秀典¹・安藤敏夫²・ 國分 尚²・渡辺 均³ Goro Hashimoto (¹千葉大園芸学部、 ²千葉大環境健康フィールド 科学セ、³Centro Pesq. Hist. Nat. Brazil)	座長 谷川 孝弘 1aH 花 06 8月咲き小ギクの電照栽培 における開花期予測 ○吉住隆司(石川農研セ)	形態形成 座長 宮島大一郎 1al 花 06 サイトカイニン生合成阻害 剤によるトレニア花芽の肥 大と花形変化との関係 ○西島隆明・山口博康・仁 木智哉(農研機構花き研)	座長 小川 一紀 1aJ 和 06 ブロッコリー花蕾部におけるグルコシノレート成分の品種間差異と第二相解毒酵 一級第3子4・三上孝治・本 大康二郎・ 石田正彦 (「農研機構野菜茶研・(株) みかど協和 3 お茶の水女子大院人間文化研究科)	1aK 利 06 食用菊 'カキノモト' の生理 特性と品質評価 ○佐藤嘉一・浅野 聡・西 脇俊和・高橋 靖・中島正 晴 (新潟農総研食研セ)	10:15
育種 座長 図分 尚 1aG 花 07 つまようじ / direct LAMP 法 の改良による萎凋細菌病抵 抗性マーカー遺伝子選抜 〜畑田真紅子・二十幹雄・・ 大石一史 ¹ ・小野崎 隆 ² ・ 加藤俊博 ¹ (¹ 愛知農総試, ² 農研機構花き研)	1aH 花 07 サルスベリ「ディアウィー ビング」の剪定時期による 開花調節 ○北井昭裕・相原朋之(神 奈川農ア)	lal 花 07 アルストロメリア'グリーン コーラル'における花芽形成 の異常に関する形態学的調 査 ○平井雅代¹・星野洋一郎 23・ 菅野 明¹(¹ 東北大院生命 科学研究科,²北海道大北方生 物圏フィールド科学セ,³ 北 海道大側成研)	1aJ 利 07 HPLC 分析におけるポスト カラム加熱法によるプロン ントシアニジンの検出 ○浅野 聡・西脇和俊・佐藤嘉一 (新潟農総研食研セ)	laK 利 07 トルコギキョウ切り花においてスクロース前処理時の 相対湿度およびスクロース。 濃度が葉の障害発生および 花持ちに及ぼす影響 ○湯本弘子・市村一雄(農 研機構花き研)	10:30
laG 花 08 マーガレット新品種 'ブリンセスレモネード'の育成 と市場評価 ○稲葉善太郎(静岡農試南 伊豆分場)		1al 花 08 カラーの仏炎苞における形態的特性と花器官形成遺伝 子群の発現 ○中山北斗¹・福田達哉²・ 菅野 明¹(¹東北大院生命科学研究科,高知大農学部)	1aJ 利 08 剥皮した'市田柿'の低温 における脱設 ○船橋徹郎・今川昌平・山 近龍浩(長野南信農試)	軟化・細胞壁 座長 桜井 直樹 laK 利 08 エチレンによるモモ果実の 軟化制御機構 ○羽山裕子・立木美保・中 村ゆり・樫村芳記(農研機 構果樹研)	10:45

第1日 3月24日(土) 11:00~13:00

		第1日	3月24日(土)	$11:00 \sim 13:00$		
時間	A 会場 2-C 第 3 セミナー室 果樹 I	B 会場 2–D 中会議室 果樹 II	C 会場 2–E 視聴覚研修室 果樹 III	D 会場 3–A 第 1 会議室 野菜 I	E 会場 2–A 第 1 セミナー室 野菜 II	F 会場 2-B 第 2 セミナー室 野菜 III
11:00	カンキツ川 座長 井上 久雄 1aA 果 09 温度環境の違いが無核品種 "サザンイェロー"の種手影 成と胚の発育に及ぼす影響・・ 羽生 剛!・金皮師司2・ ・ 羽生 剛!・金皮師司2・ ・ 小原都弘3・田中満稔3(「京都 大院農学研究科、2 広島農技 セ、3 高知農技セ果樹試)	核果類 1aB果09 ウメの樹脂障害果と果実への傷処理による樹脂の発生との関係 ○上中昭博(福井園試)	けるショ糖濃度が結実性お よび果実品質に及ぼす影響	○片山貴雄・三井寿一・末 信真二・浜地勇次(福岡農	発芽・育苗 II 1aE 野 09 第 3 報 固化培地セル成型 苗を利用した若苗定植(本葉 1~2 枚)によるブロッコリーの生育特性 (人工・)・八字智美・一小松和彦・一酒井浩晃・1 日井富太 1 (1 長野野菜花き試佐久支場)	栽培・作型Ⅲ 1aF 野 (99 1 年株アスパラガスの貯蔵 根糖度に及ぼす日長及び温 度の影響 ○鹿野 弘・高野岩雄(宮 城農業園芸総合研)
11:15	田義弘 4 (1JA 和歌山県農,	クリ・イチジク 座長 池谷 祐幸 1aB 果 10 クリ新品種 だろたん。 平林利郎・壽 和夫・齋藤寿 広*・澤村 豊・寺井理治**・ 菱珍・高田教臣・〇仕藤明彦・ 西端豊英 ****・ 軽村芳記・鈴 木勝砥・木原武士・内田 誠・ 横果樹研・元農研楼構果樹試、**・「上梨果樹試、**・「上梨果樹試、**・「上	1aC 果 10 接ぎ木時期と台木の葉の有 無がカキ幼苗接ぎ木苗の生 育に及ぼす影響 ○脇坂 勝 ¹ ・杉村輝彦 ¹ ・神崎真哉 ² (「奈良農総セ, ² 近畿大農学部)	短節間性カボチャ新品種 'TC2A (ほっとけ栗たん)' の特性 森下昌三 ¹ ・伊藤喜三男 ¹ ・ 野口裕司 ¹ ・○杉山慶太 ¹ ・ 室 崇人 ¹ ・渡邉春彦 ² ・早	生理活性物質 座長 鈴木 克己 laE 野 10 ジネンジョの新芋と花穂の 発育に及ぼすジベレリン理 濃度の影響 ○古田康仁・ 高橋有質・1・ 他 田啓臣 1・金浜耕基2(1・ 秋 ・金浜耕基2(1・ 映 ・金浜耕基2(1・ 映 ・金浜耕基2(1・ 映 ・金浜耕基2(1・ 秋 ・安川・ で ・一、 で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	IaF 野 10 アスパラガス貯蔵根に含ま れるフルクトオリゴ糖の MALDI-TOF MSを用いた定 量法 ○野村修子・鈴木 卓・前 田智雄・大澤勝次(北海道 大院農学研究院)
11:30	の着花および果実品質に及 ぼす影響 平岡美和 ¹ • ○冨田栄一 ¹ •	1aB 果 11 アジアのクリの遺伝学的分 類(第 8 報)座から抽出したDNAを用いた生グリの品 権識別法の開発 ○井上柴ー1・寧 林¹・都 筑久仁2・原 弘道¹(¹ 茨 城大農学部,² カネボウフー ズ(株))		1aD 野 11 ナスの調理適性の品種・系 統間差 ○西本登志 ¹ ・後藤公美 ¹ ・ 山口智子 ² ・中木綾子 ² ・井 田祥二 ¹ ・矢奥泰章 ¹ (¹ 奈 良農総セ、 ² 奈良女子大生活 環境学部)	1aE 野 11 イチゴの葯培養における培 地条件が花粉由来植物の発 生に及ぼす影響 ○松村真里子・柳 智博・ ナスワット ブリーダ・奥田 延幸(香川大農学部)	栽培・作型Ⅳ 座長 浅尾 俊樹 1aF 野 11 アスパラガスのアレロパシー 活性の品種間差異が改植時に おける収量に及ぼす影響 ○西原英治・元木 悟²・渡辺 揺輔・中野太佳司(「新潟農 総研園研セ? 長野野菜花き試)
11:45	1aA 果 12 ハウスミカンにおける収量と ブラントキャノビーアナライ ザーで推定した葉面積指数 横冠占有面積率との関係 ○矢野 拓¹・川野達生¹・ 松原公明 ² (¹大分農林水産 研果樹,²大分東部振興局)	1aB 果 12 DNAマーカーによる国内イチジク品種の類縁関係および多様性の解析 ○池上秀利 ¹ ・野方 仁 ² ・ 栗村光男 ² ・平島敬太 ¹ ・申 原隆夫 ¹ (「福岡農総試、 ² 福岡農総試豊前分場)		1aD 野 12 丹波黒大豆を親に持つエダマメ新品種「黒っこ姫」お はび「茶っこみ姫」の特・岩 ○廣田智子・福嶋 の特・岩 井正志・曳野亥三夫(兵庫 農総セ)	1aE 野 12 トマトにおけるアスコルビン酸による母株上での不定 芽形成促進 ○	laF 野 12 直播および定植時の苗令が エダマメの生育と収量に及 ぼす影響 (川城英夫・吉田俊郎(千 葉農総研セ)
12:00	座長 貝原 洋平 1aA 果 13 ・ヒリュウ台 ウンシュウミカン若齢樹の結果開始時期が果実収量および品質に及ぼす影響 ○大倉英憲・矢羽田第二郎・村本晃司・巣山拓郎・松本和紀・井樋昭宏*・牛島孝策 (福岡農総試、福岡農業大)			育種・品種特性Ⅲ 座長 杉山 慶太 laD 野 13 効率的なメロンつる割病抵 抗性検定方法の開発 ○坂田好輝・小原隆由・杉 山充啓 (農研機構野菜茶研)	成分・色 座長 堀江 秀樹 laE 野 l3 北海道の夏秋季における四 季成り性イチゴの糖および 有機酸含量の収穫期別推定人・下山 奈穂美・前田智雄・鈴木 卓・ 大澤勝次(北海道大院農学研 究院)	
12:15	IaA 果 14 土壌管理法と摘果法の違い がウンシュウミカンの収量 と果実品質に及ぼす影響 ○瀧下文孝・平岡潔志・村 松 昇(農研機構近中四農 研)			1aD 野 14 レタス根腐病抵抗性品種の 育成 第8報 レース2抵抗 性品種 '長・野 (ちょうや) 37号'の育成経過と品種特性 ○土屋宣明 (長野野菜花き試)	1aE 野 14 金時草ならびにブドウ 'ハ ニーレッド' の糖含量や生養 圏が物質処理の影響 ○加納恭卓・松下和佳子・ 山辺 守・杉浦 明 (石川 県大生物資源環境学部)	
12:30	laA 果 15 ・きのこ型樹形 による樹形 維持と軽労働化の検討 菊地毅洋・○高木信雄・加 姜 豊・兵頭洋仁・三堂昭・政本泰幸(愛媛果樹試 南予分場)			裕人4·中村浩蔵4·松島憲	○坂口祐美 ¹ ・尾崎行生 ² ・宮 島郁夫 ³ ・鈴木 卓 ⁴ ・山口雅 篤 ⁵ ・大久保 敬 ² (¹ 九州大 院生物資源環境科学府, ² 九州	響 ○斎藤隆雄・小河 甲・永 井耕介・竹川昌宏(兵庫農
12:45	1aA 果 16 後期重点摘果、開花後の弱 剪定等を体系化した技術の 導入による隔年結果性の強 い高糖系ウンシュウの連年 安定生産現地実証 ○井上久雄¹・藤原文孝¹・ 西山富久²・山西和廣¹・ 京部伸一郎¹・山内亜希子¹ (¹愛媛果樹試,²愛媛県農大)				1aE 野 16 ホウレンソウの硝酸イオン 含量と栽培土壌中の硝酸含 量の関係 ○日坂弘行(千葉農総研)	laF 野 16 飼料用ソルガムによる野菜 は場における農薬ドリフト 防止の検討 〇宮坂幸弘 ¹ ・高井智之 ¹ ・ 中山利明 ¹ ・水流正給 ¹ ・百 瀬義男 ¹ ・渡辺晴彦 ¹ ・古 百 瀬夫 ² ・水社和彦 ³ (長 野 音試、 ² 佐久農普セ小海之所、 ³ 長野野花試佐久支場)

第1日 3月24日(土) 11:00~13:00

		第1日 3月24	日 (土) 11:00~	- 13:00	
G 会場 3-I A 会議室 花き I	H 会場 3–J B 会議室 花き II	I 会場 3–K C 会議室 花き III	J 会場 3–B 第 2 会議室 利用 I	K 会場 2–H リハーサル室 利用 II	時間
育種 1aG 花 09 3 倍体センノウを用いた種間雑種の作出 ○宮崎絢子¹・桑山幸子²・中野 優²・萩田信二郎¹・加藤康夫¹・中田政大生工・一時成成³(¹富山県大生工・研セ²・新潟大農学部,³富山県中央植物園)		形態形成 座長 菅野 明 1a1 花 09 デルフィニウムのがく片展 開にともなう表皮細胞数、浸 透圧および糖質分布の変動 の乗越 売 ¹² ・山田邦夫 ³ ・ 今西英雄 ² ・市村一雄 (「農研機構花き研。 ³ 名古屋大院生命 農学研究科)	橋 渉・豊増知伸・村山秀	軟化・細胞壁 1aK 利 09 不溶質タイプのモモ 'もちづき' 果実におけるポリガラクツロナーゼ遺伝子の発現について〇澤田 歩1・羽山裕子2・立木美保2・中村ゆり2(「青森農林総研セ,2農研機構果樹研)	11:00
座長 小野崎 隆 laG 花 10 アルストロメリアとボマレアの花の形態学的観察と花粉稔性の評価および属間雑種育成の試み ○柏原夕希子¹・荒木 肇¹・篠田浩一²・村田奈芳²・5星野洋一郎¹¹³ (! 北大北方巻 物圏セ、2 農研機構北海道農研, ³ 北大創成研)		laI 花 10 異なる花型をもつトルコギキョウ品種間での花弁成長の比較 ○横尾美星・河鰭実之(東京大院農学生命科学研究科)	laJ 利 10 Fe ²⁺ はブドウ葉内脂質からのエチレン生成を促進する ○落合彩織・川下智美・土 橋由起子・石井孝昭(京都府大院農学研究科)	laK 利 10 各種果肉組織の構造主体成 分の存在形態 ○新村博・横山朝哉・木村 聡・和田昌久・松本雄二・空閑重則(東京大院農学生 命科学研究科)	11:15
1aG 花 11 胚珠培養によるマーガレットとハナワギクの属間雑種 作出方法の検討 ○岩崎勇次郎・植田陽子*・ 山田栄成(静岡農試、*静岡 県中遠農林事務所)		1aI 花 11 ビンカ種子における貯蔵養 分が突出する形態異常 ○宮島大一郎 (宮崎大農学部)	1aJ 利 11 エチレンの前駆物質としての ブドウ葉内脂質の単離と解析 落合彩織・○土橋由起子¹・ 川下智美・・倉本 誠・・石 井孝昭¹(¹京都府大院農学 研究科、2 愛媛大総合科学研 究支援センター)	1aK 利 11 セイヨウナシの果実軟化に 関連する細胞壁タンパク質 の解析 ○坂東麻由・牛島幸一郎・ 中野龍平・稲葉昭次・久保 康隆(岡山大院自然科学研 究科)	11:30
laG 花 12 観賞用赤花系イチゴ新品種 「桜香」、紅香」の育成 ○石川正美・関 栄一(千 乗農総研セ)		IaI 花 12 LED 単色光照射および複合 光照射がペチュニアの形態 形成に及ぼす影響 ○宮坂裕司 ¹ ・雨木若慶 ² ・渡邊博之 ³ (¹ 玉川大院農学 研究科 ² 、東農大農学部 ³ 、玉 川大農学部)	座長 永田 雅靖 1aJ 利 12 りんごにおけるエチレン受容体の解析 ○立木美保・羽山裕子・中村ゆり(農研機構果樹研)	品質評価・非破壊解析 座長 辰巳 保夫 1aK 利 12 ブドウ果肉の食感評価と品 種間差異 ○藤路 陽 1・花田貴紀・塞 櫻井直樹 2・上野俊人 3・薬 師寺 博 ³ (「右)生物振動 研究所、2 広島大院生物圏科 学研究科 3 果樹研(安芸津))	11:45
			1aJ 利 13 1-メチルシクロプロベン処理バナナ果実の貯蔵環境が可食期間延長効果におよぼす影響 ○小泉明嗣・馬場 正・真子正史(東京農大農学部)	1aK 利 13 ラ・フランス後熟過程の食 感変化の定量化 ○花田貴紀 ¹ ・黒木信一郎 ² ・ 村山秀樹 ³ ・ 桜井直樹 ¹ (¹ 広島 大院生物圏科学 ² 広島大産学 連携センター ³ 山形大栗学部)	12:00
			IaJ 利 14 ブロコリの収穫後貯蔵に及 ぼす 1-MCP 処理の影響 ○馬 剛・王 然・徐 会 連 ² (¹ 中国莱陽農大, ² 自然 農法セ)	座長 長谷川美典 1aK 利 14 食感測定装置を用いたネギ の品権間の食感分類 ○黒木信一郎¹・花田貴紀²・ 機井直樹²・若生忠幸³・小 島昭夫³(¹広島大産学連携 セ,²広島大院生物圏科学研 究科,³島研機構野菜茶研)	12:15
			laJ 利 15 ラッキョウにおける生理活 性物質の機能解析 ○足立 勝 ¹ ・中川えり ¹ ・ 倉田理恵 ² ・倉田裕文 ³ ・辰 已保夫 ¹ (¹ 宮崎大農学部、 ² 農研機構九州沖縄研、 ³ (株) 下森建装)	1aK 利 15 圧電素子を利用した小型の 樹木含水率計 ○谷脇 満 **・桜井直樹 ² (¹ 広島大総合科学研究科 **, 京 都大院豊学研究科)	12:30
				1aK 利 16 温室メロンの追熟に伴う外 周の減少を指標とした食べ 頃判定法 ○荒川 博・今原淳吾(静 岡農試)	12:45

第2日 3月25日(日) 9:00~11:00

		第2日	3月25日(日)	$9:00 \sim 11:00$		
時間	A 会場 2-C 第 3 セミナー室	B 会場 2–D 中会議室	C 会場 2–E 視聴覚研修室	D 会場 3–A 第 1 会議室	E 会場 2–A 第 1 セミナー室	F 会場 2-B 第 2 セミナー室
	果樹I	果樹 II	果樹 III	野菜I	野菜 II	野菜 III
9:00	カンキツ II 座長 岩崎 直人 2aA 果 01 根域制限栽培のウンシュウミカン・上野早生・における土壌母材の違い茶の水ボテンシャル,果実品質に及ぼす影響 ○貝原洋平1・宮本輝仁2・新堂高広1(1 佐賀果樹試,2 農工研)	ニホンナシ 座長 阿部 和幸 2aB 및 01 ニホンナシの自家不和合性 に関する研究(第 43 報)花 粉の発芽と糖代謝酵素活性 に及ぼす培地中の糖の影響 ○奥坂桂子・平塚 伸(三 重大院生物資源学研究科)	プルーベリー・その他 座長 壽松木 章 2aC 果 01 ブルーベリーにおける業緑 体ゲノムを利用した品種判別の試入 ○赤木 功!2・字藤山裕羊¹・・ ・清 志穂!2・杉田 亘! 図武久登³・杉本安寛³ (「宮崎総農試・2宮崎県産業 支援財団、3宮崎大農学部)	花芽分化・着果生理 座長	養液栽培 座長 岩崎 泰永 2aE 野 01 固形培地耕における日中の培地加温がイチゴ 電影 金 大郎 12・遠藤昌伸 1・ 3 2・遠藤昌伸 1・ 3 3 3 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5	生育生理 座長 池田 敬 2aF 野 01 一時的な地下水位の上昇がニンジンの生育に及ぼす影響 ○草川知行・井上 満(千葉農総研セ)
9:15	2aA 果 02 春肥窒素の施用時期がウンシュウミカンにおける吸収・移行に及ぼす影響 ○石川 啓(愛媛果樹試)	2aB 果 02 ニホンナシの自家不和合性 に関する研究(第 44 報) ○堀川晃宏・平塚 伸(三 重大院生物資源学研究科)		の側枝形態に及ぼす影響 ○吉田俊郎・川城英夫(千	2aE 野 02 湛液流動水耕における高温 期の高濃度溶存酸素条件が 数種葉菜類の生育・収量に 及ぼす影響 ○切岩祥和 ¹ ・埴田陽介 ¹ ・ 正宗達樹 ² ・遠藤昌伸 ¹ ・糠 谷 明 ¹ (1 静岡大農学部, ² (株)ハマネツ)	2aF 野 02 野菜類における湛水害抵抗 性の評価法について ○東尾久雄・相澤証子・村 上健二・・補上敦 子 (農研機構野茶研)
9:30	2aA 果 03 カンキツ園における従来型管 理から低投入型管理への転換 期間中の土壌微生物活性 ○ Rutto, K.L.・Onguso, J.M.・ El-Shereif, A.R.・水谷房雄 (愛 媛大農学部)	2aB 果 03 ニホンナシの自家不和合性 に関する研究(第 45 報)法 こ二十世紀 花柱における S₄-RNase の免疫細胞化学的 検出 ○中嶋香織・平尾香那子・ 平塚 伸(三重大院生物資 源学研究科)	2aC 果 03 スノキ属植物の多芽体を利用したオリザリン処理による倍数体の作出 ○津田浩利¹・佐藤真希子²・荒木容輔・・嘉副人文1・鉄計 大塚也¹・小松春喜³ 図入登¹(「宮崎大農学部、²(財)宮崎県産業支援財団,3九州東海大農学部)	2aD 野 03 ニガウリの花芽の性分化に 及ぼす硝酸銀処理の影響 福元康文 ¹ ・○横本智司 ¹ ・ 西村安代 ² ・横田菜緒子 ¹ (「高知大農学部」 ² 長崎総合 科学大人間環境学部)	2aE 野 03 トマトの夏季ロックウール 養液栽培における培地冷却 の効果 ○河崎 靖・安場健一郎・ 鈴木克己・佐ゃ木英和・ 百市加・大森弘美・黒修(農研 機構野菜茶研)	2aF 野 03 キュウリの温度に対する光 合成反応測定のための温度 処理方法の検討 ○名田和義・向佐登司 ² (¹ 三重大院生物資源学研究 科, ² 三重大生物資源学部)
9:45	リンゴ 座長 石黒 亮 2aA 果 04 リンゴにおける液体増量剤を利用した人工受粉技術に関する研究(第2 報)散布 方法の違いによる結実 党 実品質について ○森田 泉¹・上田午 悦¹・ 増田圭司2・千田さゆり¹ (1 秋田農技セ果試,²白石カ ルシウム (株))	座長 板井 章浩 2aB 果 04 ニホンナシの自家不和合性 に関する研究(第 46 報)S。 RNase の多型と品種の自家 不和合性の強さとの関係 ○平塚 伸・平尾香那子(三 重大院生物資源学研究科)	座長 國武 久登 2aC 果 04 ハイブッシュ・ブルーベ リーの茎にみられるキチナーゼの蓄積と低温馴化と の関連性について ○菊地 貴・増田 清 (北 海道大院農学研究科)	花芽分化・着果生理 II 座長 藤目 幸擴 2aD 野 04 緑色炭光灯がイチゴの花芽分化および生育に及ぼす影響 ○水上宏二1・平田祐子1・兼 東川 古・ 海山 広寺 1 (福岡 農総試筑後分場, 福岡農総試	2aE 野 04 海洋深層水および深層水ミネラル調整液がトマトの成 長と果実品質に及ぼう影響 福元康文 ¹ ○ 横田菜緒子 ¹ ・ 西村安代 ・ 楫本智司 ¹ (¹ 高知大農学部 ² 長崎総合 科学大人間環境学部)	2aF 野 04 高温順化させたキュウリの 光合成における熱ストレス 耐性増大機構 ○向佐登司 ¹ ・名田和義 ² (「三重大生物資源学部。? 三 重大院生物資源学研究科)
10:00	2aA 果 05 マメコバチを放飼したリンゴ魔におけるリンゴ花粉の 伝播距離と結実率モデル ○小松宏光**・前島 動2・ 松本省吾 ³ (1 長野県農政部, 学部)	2aB 果 05 ニホンナシの自家不和合性 に関する研究(第 47 報)花 粉に含まれる S-RNase イン ヒビターについて ○石原賢・・平塚 伸(三 重大院生物資源学研究科)	に及ぼす影響 ○亀有直子・小池洋男・鈴	2aD 野 05 高温条件下でのイチゴの奇形果発生とそう果および胚の発育との関係 (ビバッタナウォン ラッラビー・藤重宣昭・山根健治・八巻良和(宇都宮大農	養液栽培 座長 桝田 正治 2aE 野 05 トマトの養液栽培における ダブルトラフ構造ベッドを 用いた量的管理法の研究 (第3報) 長段栽培における 窒素施用量の検討 Phandara, P・竹内 香・遠藤 目信・切岩祥和・○糠谷 明 (静岡大農学部)	生育生理 座長 名田 和義 2aF野 05 夏秋季におけるイチゴ株の 葉とランナーの発生につい で ○渡辺弦太 ¹ ・柳 智博 ¹ ・ 斉藤弥生子 ² ・奥田延幸 ¹ (「香川大農学部、 ² 愛知農総 試)
10:15	2aA 果 06 1年生りんご幼木の新梢生長 における貯蔵態窒素の利用 ○徐 剣波 ¹ ・荒川 修 ¹ ・ 浅田武典 ² (¹ 岩手大院連合 農学研究科 ² 、2 弘前大農学生 命科学部)	2aB 果 06 ナシの選抜マーカーに関する研究(第3報)ニホンナシの果皮色表現型ニホ数量化に向けた果皮構造の組織学的観察 〇大島良彦・原 弘道・井上栄一(茨城大農学部)	トシアニン組成の特徴 西 千尋・○鈴木 卓・阪 井悠介・野村修子・大澤勝	マーカー他 座長 執行 正義 2aD 野 06 イラゴの品種識別用DNAマー カーを活用した品種検索と親 子関係判定プログラム ○森 利間・國久美由紀 ² ・ 山本有子 ¹ ・松元 哲 ² (! 三 重科技振七農研、? 野菜茶研)	2aE 野 06 トマトの養液栽培における ダブルトラフ構造ペッドを 用いた量的管理法の研究(第 4報) リン酸施用量の検討 ○ Phandara, P・遠藤昌伸・ 切岩祥和・糠谷 明(静岡 大農学部)	2aF 野 06 異なる環境条件下で栽培した スイト・バジルの葉の腺毛分 布密度と精油含量の関係 ○三宅創平・市村匡史・橘 昌司(東京農大農学部)
10:30	座長 金山 喜則 2aA 果 07 簡易評価法によるリンゴ着 色の品種期差異・國崎かの子・ 関いづみ・和田雅人・工藤 和典・猪俣雄司(農研機構	座長 菅谷 純子 2aB 果 07 ナシにおける遺伝子発現と ゲノム機能解析 6. ナシ果軒 に発現する遺伝子群の高速分群の ○西谷千佳子¹・寺上伸吾¹・ ・上田恵理子¹・澤村 豊¹・ 今井 剛¹・藤井 浩・清農 ・・清農 ・・清農 ・・清農 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	座長 山田 寿 2aC 果 07 パパイアの生長およびアーパスキュラー菌根の発達に おける窒素およびリンの最適施用量 ○アンドレ フレイリクルス・林 絵美・松村 篤・棚井幸江・石井孝昭(京都府立大院農学研究科)	葛谷真輝 ² ・大澤 良 ³ ・高 津康正 ¹ (¹ 茨城農総セ生工 研, ² 筑西農改セ, ³ 筑波大生	い緩効性肥料の使用による 低投入・低排出型(Low Input	2aF 野 07 食用ギボウシの相関的休眠 と内生休眠の様相 ○高樹英明・上野貴行・野 山友香・松野義和(山形大 農学部)
10:45	2aA 果 08 リンゴ実生における乾燥ストレス、アブシシン酸制御 および抗酸化物質 ○シータースッティワン・ 近藤 悟(県立広島大院総 合学術研究科)	2aB 果 08 ジベレリンが果実肥大期のニ ホンナシの光合成産物の転流 および分配に果たす役割 ○張 才喜!2・田邉賢二2・ 田村文男2・板井章浩・吉 田昌司2(1 日本学術振興会 特別研究員,²鳥取大農学部)	の生長並びにパパイアの菌 根形成と生長に及ぼす影響 ○谷村 仁・松村 篤・堀 井幸江・落合彩織・クルス	○嫁崎 光¹・佐々木 健¹.²・ 米丸淳一³・金森裕之⁴・河 野いづみ⁴・山下謙一郎¹・ 若生忠幸¹・小島昭夫¹(¹農	2aE 野 08 傾斜培地水耕のニンジンと ゴボウの生育に及ぼす養液 温度の影響 ○藤重宣昭・金田朋恵・山 根健治・八巻良和(宇都宮 大農学部)	2aF 野 08 実エンドウのハウス栽培に おける子実肥大不良莢発生 の品種関差と発生防止のた めの温度管理方法 ○西森裕夫 ¹ ・東 卓弥 ¹ ・ 川西孝秀 ¹ ・神藤 宏 ² ・福 暢総子 ² (¹ 和歌山農技セ展園 試、 ² 和歌山農技セ暖園セ)

第2日 3月25日(日) 9:00~11:00

		第2日 3月25	日(日) 9:00~	~ 11:00	
G 会場 3-I A 会議室 花き I	H 会場 3-J B 会議室 花き II	I 会場 3–K C 会議室 花き III	J 会場 3–B 第 2 会議室 利用 I	K 会場 2–H リハーサル室 利用 II	時間
遺伝子組替え 座長 久松 完 2aG 花 01 アラビドブシスFT遺伝子を 導入したキクの開花反応 猿田聡嗣 ¹ ・清末知宏 ² ・○ 深井誠一 ¹ (¹ 香川大農学部, ² 香川大総合生命科学実セ)	期の水やり法	収穫後生理 座長 土井 元章 2al 花 01 室内環境における鉢花カー ネーションの品質、乾物香 地球で糖含量の変化と摘着 処理による改善についた 発爪亜希 ^{1 ・} ○山根健治 ^{2 ・} 和田義春 ^{3 ・} ・「中都宮大農学 部 ^{2 ・} ・「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			9:00
2aG 花 02 イネ由来開花時期制御遺伝 子のキクへの導入 ○浅尾浩史 1・横井修司 2・ 前田茂一1・仲 歴史 1・鳥本 功 3 (1 奈良農総セ・2 岩 手大農学部、3 奈良先端大)	おける土壌温度の測定 梁川 正・○岡本佳菜子(京 都教育大)	2aI 花 02 カーネーション花弁のwilting と 協信ing 過程における老化関 連遺伝子の発現解析 ○大津佐和子 1.3・小杉祐介 2・ 佐藤 茂 3 (「東北大院農学研 完科 2・香川大農学部 3 京都府 大院農学研究科)			9:15
2aG 花 03 Agrobacterium rhizogenes を 利用したラバンジンの形質 転換 ○池戸宏行・津呂正人(名 城大)	の混合比率が定植後の花き 苗の生育に及ぼす影響				9:30
遺伝子解析・生理活性物質 座長、深井 誠一 2aG 花 04 SSR マーカーによるカー ネーション品種識別 一朝野尚樹・小曽納雅則・ 湯原 清・清野義人・伴 義之(種苗管理セ)	熱融着性ポリエステル繊維 固化培地を用いたポットレ ス花壇苗生産2.培地の形状、 施肥方法、栽植密度がバン ジーの生育に及ぼす影響	異なる濃度のゲランガムと MS 無機塩で調製したゲル がバラ切り花の花持ちに及 ぼす影響およびその特性 ○市村一雄 ¹ ・仁木朋子 ¹ ・			9:45
2aG 花 05 アジアテック・ハイブリッドユリにおける光による bHLH 遺伝子の発現制御 ○中務 明¹・田崎啓介¹・小林伸雄¹・山岸真澄²(1 島根大生物資源料学部,² 北海道大院農学研究院)	空気膜ハウスの特性把握とトルコギキョウの生育開花に及ぼす影響 ○宮本賢二 ¹ ・鈴木尚俊 ² ・	2aI 花 05 カンナ業の収穫に伴う急激 な生理障害発生の諸特性 ○土井元章・廣瀬 望(信 州大農学部)			10:00
2aG 花 06 キクにおいてエチレン前駆 休, ACC は花芽分化および 節間伸長を抑制する ○住友克彦・柴田道夫・道 顕美弦・久松 完(農研機 構花き研)	葉光合成特性の解析 ○牛尾亜由子・福田直子・ 島地英夫(農研機構花き研)	2aI 花 06 ニューラルネットワークに よるバラ切り花の日持ち子 測モデルの開発 ○印 頻賤¹・稲本勝彦²・土 井元章³(1 大阪府大院生命 環境科学研究科,²東北農業研 究センタ¸³信州大農学部)			10:15
色・香り 座長 中山 真義 2aG 花 07 リンドウ花弁からのアントシアニン 5 位配糖化酵素(5GT)遺伝子の単離と解析 ○佐藤 圭¹・中塚貴司²・西原昌宏²・山村三郎²(「岩手大院農学研究科,² 岩手生工研セ)	崎完治 (¹ 静岡農試 , ² ㈱プ ランツ)				10:30
2aG 花 08 ラベンダー香気成分の開花 ステージによる組成変化 ○清野義人・西川恒夫・伴 義之(種苗管理セ)	ライトホローシステム				10:45

第2日 3月25日(日) 11:00~13:00

		第2日	3月25日(日)	$11:00 \sim 13:00$		
時間	A 会場 2-C 第 3 セミナー室	B 会場 2–D 中会議室	C 会場 2–E 視聴覚研修室	D 会場 3–A 第 1 会議室	E 会場 2–A 第 1 セミナー室	F 会場 2-B 第 2 セミナー室
	果樹I	果樹 II	果樹 III	野菜I	野菜 II	野菜 III
11:00	リンゴ 2aA 果 09 リンゴ果実への糖及び酸の蓄積におけるソルビトールの役割 一鈴木康生 ^{1,2} ・Teo, Gl・Uratsu, SL-l・Lampinen, B-l・Omonde, N-l・Hu, WK-l・Delong, TM-l・Dundekar, AM-l(カリフォルニア大デービス校 Plant Sciences 学部 2 神戸大農学部)	分化の初期段階の比較観察 ○江角智也・田尾龍太郎・ 米森敬三(京都大院農学研		マーカー他 2aD 野 09 09 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	養液栽培Ⅲ 座長 報合 明 2aE 野 09 鰹煮汁およびトウモロコシ浸 漬液を肥料とする養液栽培 ○篠原信(農研機構野茶研)	生育生理 III 座長 橋 昌司 2aF 野 09 ネギ苗の剪葉、剪根が移植後の生育に及ぼす影響 () 武田 悟・本庄 求(秋田農技セ農試)
11:15	座長 小森 貞男 2aA 果 10 リンゴ授粉樹の S 遺伝子型: 'Makamik' に存在する S ₁ -, S ₂₄ -RNase like allele の 特徴 ○松本省吾 ¹ ・阿部和幸 ² (¹ 岐阜大教育学部, ² 農研機 構果樹研(盛岡))	座長 関 達哉 2aB 果 10 根圏制御栽培におけるニホンナシ・字水、に対する PRD かん水制限試験(第 1 報)かん水制限では体生育及び果実品質に及ぼす影響 ○大谷義夫 1・朝倉利員 2・ 株 雅子 1 (1 栃木農試 2 農研機構果樹研)		遺伝子解析 I 座長 塚崎 光 2aD 野 10 8 倍体イチゴ の染色体観察 法の改善 ○ナスウェット ブリーダ ¹ ・柳 智博・曽根一純2・武田 真 I・奥田延幸 ¹ (1 香川大農学部 ² 農研機構九州沖縄農研)	性有機物を肥料とする養液 栽培 ○渡邊篤敬 ¹ ・篠原 信 ² ・	2aF 野 10 内生ジベレリンレベルの低 下はネギの分げつ発生を抑 制する ○山崎博子・矢野孝喜・長 菅香織・稲本勝彦・山崎 (農研機構東北農研)
11:30	2aA 果 11 リンゴ、セイヨウナシの腐らん病感受性の差異と感受性の時を的変化 ○阿部和幸¹・古藤田信博¹・加藤秀憲*・・副島淳一¹(¹農研機構果樹研,* 国際農研)	2aB 果 11 ニホンナシ '幸水' 高齢樹 の予備枝利用による収益性 維持 ○北口美代子 (千葉農総研セ)		2aD 野 11 UV-A,UV-B, または青色光 を照射したカブ肥大部にお ける遺佐子発現プロファイ ルの解析 ○河鰭実之1・李 玉花 ² ・周 旋 ² ・本間信一郎 ¹ (東京大 院農学生命科学研究科, ² 東北 林業大花卉バイオテクノロ ジー研)	における培地の種類と窒素施 用量が収量に及ぼす影響 〇岡田憲一郎・吉住隆司・	
11:45	鈴木長蔵 ³ ・石山正行 ³ ・北山 弘 ³ ・山田三智穂 ³ ・工	症樹における夏季高温時の 水分状態と蒸散流の特徴 ○朝倉利員・中村 仁・杉 浦裕義・阪本大輔・吉岡博		2aD 野 12 Capsicum frutescens 系統でみられた極低辛味形質の遺伝 ○ Saritnum, O.¹・松島憲一²・ 南山泰宏・・南・峰夫・2・ 井正志 ⁴ ・番匠弘美²・根本 和洋²・馬場飯郎²(¹ 岐長 大院連農(信州大), ² 信州 大院連農、「京都農資研, ⁴ 京都 府大院農)	2aE 野 12 「防根給水ひも」による果菜 類の養水分需給バランス栽 培法の開発(第 3 報.「ひも」 の毛管作用特性 ○桝田正治・福元祥子・ジョ ハシャムス(岡山大院自然 科学研究科)	す収穫直前の連続照明処理 の影響 ○加藤彩香 ¹ ・名田和義 ² (1 三番大生物容順学部 ² 三
12:00						
12:15						
12:30						
12:45						

第2日 3月25日(日) 11:00~13:00

	I	第2日 3月25	日(日) 11:00~	13.00	
G会場	H 会場	I会場	J会場	K 会場	
3-I A 会議室 花き I	3-J B 会議室	3-K C 会議室	3-B 第 2 会議室	2–H リハーサル室 利用 II	時間
	花きⅡ	花き III	利用I	作り用 11	11.00
繁殖 座長 中野 優	座長 稲本 勝彦 2aH 花 09				11:00
2aG 花 09 カラーの in vitro 培養におけ	カーネーションの多年切り				
る茎切片からの不定芽再生	質の向上				
および苗条の順化・活着 細木高志・○松田康仁(島	○櫨山妙子・諸岡淳司(長 崎総合農林試)				
根大生物資源科学部)					
2aG 花 10 ヤマシャクヤクの種子胚の	2aH 花 10 ベンジルアミノプリン処理				11:15
成長に及ぼすGA3とBAPの	による秋ギクの腋芽形成に				
影響 ○茂木靖和(岐阜森林研)	及ぼす影響 〇峯 大樹 ¹ ・出口 浩 ² ・				
	諸岡淳司 ¹ (¹ 長崎総農林試, ² 長崎農改セ)				
	XNJACGX =/				
2aG 花 11	2aH 花 11				11:30
ラン科希少種エビネ属タガ ネランの非共生培養法によ	つる性植物における早期長				
る完熟種子の発芽とプロトコーム形成					
○三吉一光 ¹ • 川上清久 ² •					
神戸敏成 ³ ·遊川知久 ⁴ (¹ 秋田県大生物資源科学部,					
² 秋田県大院生物資源, ³ 富山 中央植物園, ⁴ 国立科博筑波					
実験植物園)					
2aG 花 12	2aH 花 12				11:45
観賞用バナナ種子への傷付けおよびGA3処理に伴うα-					
アミラーゼ活性 ○長野伸悟・森源治郎・小	整枝と電照の影響 ○和田朋幸・加藤俊博(愛				
田雅行(大阪府立大院生命					
環境科学研究科)					
					12.00
					12:00
					12:15
					40.50
					12:30
					12:45

第2日 3月25日(日) $13:00 \sim 15:15$

	1	弗2日	3月25日(日)	$13:00 \sim 15:15$		
時間	A 会場 2-C 第 3 セミナー室	B 会場 2–D 中会議室	C 会場 2–E 視聴覚研修室	D 会場 2-B 第 2 セミナー室	E 会場 2-A 第 1 セミナー室	F 会場
-7 IEI	果樹I	果樹 II	果樹 III	野菜Ⅰ	野菜Ⅱ	野菜 III
13:00						
13:15						
12.20)# (= 3 AT < 1)	W # d 7m 46.mm	
13:30				遺伝子解析 座長 河鰭 実之	栄養生理・施肥 座長 村上 賢治	
				2pD 野 01 塩ストレス処理はトマト果 実発達過程初期のデンプン	2pE 野 01 誘電率土壌水分センサを利 用した給液制御	
				合成を促進する ○小林芳江・松倉千昭・菅	○岩崎泰永·吉田千恵·龍	
				谷純子·西村繁夫(筑波大 院生命環境科学研究科)		
13:45				2pD 野 02 トマトの単宝特異的に発現	2pE 野 02 露地の養液土耕法における	
					給液の濃度および管理方法 がナスの生育に及ぼす影響	
				○湯淺高志 ¹ • 富窪陽子 ² • 井上晃良 ³ • 上村香菜子 ³ •	○安 東赫 ¹ ・池田英男 ² (¹ 茨城農総セ園研, ² 大阪府	
				井上眞理 ¹ (¹ 九大院農学研究院, ² 九大院生物資源科学	大院生命環境科学研究科)	
				府,3九大農学部)		
14:00				遺伝子解析Ⅲ 座長 西村 繁夫	2pE 野 03 施設トマト栽培における栄	
				2pD 野 03 トマトにおける <i>V-PPase</i> の発 現解析と着果における役割	養診断に基づく追肥法が施肥量と収量に及ぼす影響 (第6報)接ぎ木栽培におけ	
				○西尾聡悟 ¹ ・森口 亮 ¹ ・ 金濱耕基 ¹ ・白武勝裕 ² ・山	る施肥前の土壌残存窒素と 施肥窒素量との関係	
				木昭平 ² · 金山喜則 ¹ (¹ 東 北大院農学研究科 , ² 名古屋	○山本二美・松丸恒夫(千)	
14:15				大院生命農学研究科)	2mE FS 04	
17.13				2pD 野 04 トマト <i>LeTBP1</i> の発現抑制 による異数化の誘発と花粉	2pE 野 04 低濃度域における培養液濃 度がトマト苗の養分吸収速	
				総性の低下○森口 亮・金浜耕基・金山	度に及ぼす影響 Gonzales jocelyn amihan・〇	
				喜則(東北大院農学研究科)	丸尾 達・篠原 温(千葉 大園芸学部)	
14:30				2pD 野 05 トマトにおける AINTEGU-	栄養生理・施肥Ⅱ	
				MENTA ホモログ LeANT と	座長 篠原 温 2pE 野 05	
				果実形成との関係 ○佐藤淳平・森口 亮・鎌田 庸子・金浜耕基・金山喜則	堆肥施用が肥効調節型肥料に よるセル内基肥連用のキャベ ツの生育に及ぼす影響	
				(東北大院農学研究科)	○町田剛史・川城英夫・安藤光一(千葉農総研セ)	
14:45					2nE 野 06	
					数種アミノ酸施与が数種葉 菜類の生育および硝酸態窒	
					素含量に及ぼす影響 ○浅尾俊樹・北澤裕明・吉永 直一郎・長安貞也・伴 孫也	
					真一郎·長安卓也·伴 琢也 (島根大生物資源科学部)	
15:00					2pE 野 07 燃焼鶏ふん灰の肥料特性と	
					野菜への肥効 (第5報) 'バ イオ強酸水' 処理による中	
					和処理と成分の溶解特性 ○畑 直樹 ¹ ・村上賢治 ¹ ・ 桝田正治 ¹ ・秋庭英治 ²	
					(1/1)	